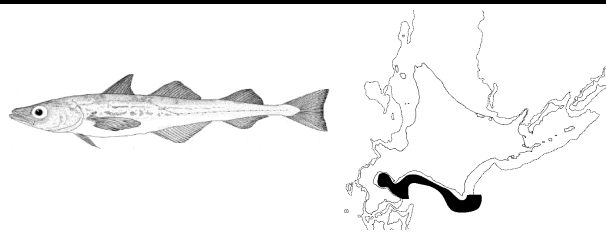


2.スケトウダラ

主な漁業と漁期
沖合底びき網：9～翌5月
刺し網・定置網：10～翌3月



道南太平洋海域 【太平洋系群】

生態

◆分布・回遊

太平洋側のスケトウダラは房総沖から千島列島にかけて連続して分布し、成魚の大部分は産卵期に胆振・渡島海域に來遊します。なお、道南太平洋海域と道東太平洋海域のスケトウダラは同一の太平洋系群と考えられています。

◆産卵期・産卵場

- ◎産卵期は12～翌3月で、盛期は1～2月です。
- ◎産卵場は噴火湾内、および水深200m以浅の渡島・胆振海域に形成されます。道南太平洋海域は太平洋系群の主産卵場となっています。

◆成長・成熟

(4～5月時点)

	体長(cm)	体重(g)
4歳	37	406
5歳	40	487
6歳	42	543
7歳	43	607
8歳以上	45	671

*) 体長・体重は日高沖底漁獲物の生物測定結果より
*) 2013～2020年4～5月測定分

◎成熟年齢・体長

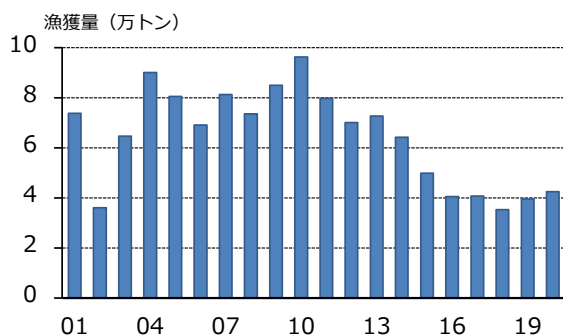
3歳から成熟する個体がみられ、4歳以上で大部分の個体が成熟します。

資源評価

[評価年] 4月～翌3月

[資源量の指標] 刺し網資源量指数

2010年級群以降、連続して加入量が低かったため、資源は連続して減少していましたが、2020年度の漁獲量は約4.3万トンで前年より増加しました。2020年度の資源水準は中水準で、翌年にかけての資源動向は横ばいと判断されました。2020年度に4歳で加入した2016年級群や後続の2017年級群の豊度は比較的高いと考えられることから、資源は回復傾向にあるものと考えられます。



2020年度
の水準



中水準

2021年度
の動向



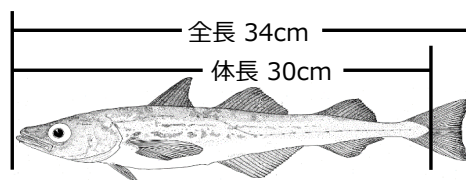
横ばい

※道総研が受託している国の資源評価調査のデータも利用して評価しています。

資源の維持・増大のために！

資源管理の現状(主なもの)

- TAC(漁獲可能量)管理
2021年漁期のTACは、大臣管理分99.7千トン(道東太平洋、東北分を含む)、北海道知事管理分の道南太平洋は63.9千トンです。(2021年10月現在)
- 資源管理協定(2019年3月更新)
関係漁業者間で体長30cm又は全長34cm未満の未成魚保護を目的とする漁場移動等を定めています。



☆資源の有効利用のため、現状の取り組みの継続が必要です。

問い合わせ先

北海道水産林務部水産局漁業管理課資源管理係
北海道立総合研究機構 函館水産試験場調査研究部

電話 011-204-5477

電話 0138-83-2893